

しろいし



2018
冬
第188号

市議会だより



〔表紙写真〕

1月12日、斎川小学校で冬の恒例行事「団子さし」があり、民生委員・児童委員や高砂会の会員など地域の方13名が参加して、1・2年生の5名と一緒に活動を行いました。斎川小学校は今年3月に閉校し、白石第二小学校と統合するため、本校舎での実施は最後となりますが、子どもたちは笑顔で団子さしを楽しんでいました。

- 2～4P 12月定例会の概要・審議した議案
- 4～5P 予算審査特別委員会
- 5P 常任委員会
- 6P 特別委員会報告
- 7～12P 市政に対する一般質問(10名)
- 13P 意見書・11月臨時会
- 14P 意見交換会のお知らせ・編集後記



みんな笑顔で記念撮影。はいチーズ!

12月定例会 一般会計補正予算など37議案を可決

平成29年12月定例会は、12月8日から12月20日までの13日間の日程で開催されました。市長提出議案は、条例等25件、予算3件の計28件でした。

定例会初日、すべての議案の提案理由の説明が行われ、2日目、議案質疑が行われた後、第95号議案から第104号議案までの10議案は、厚生文教常任委員会に、第105号議案から第107号議案までの3議案は、予算審査特別委員会にそれぞれ審査が付託されました。第80号議案から第94号議案は、表決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

一般質問は、12月18日と19日の2日間で、10名の議員が質問を行いました。

定例会最終日の本会議において、各委員長報告を行なった後、表決の結果、第95号議案から第104号議案及び第105号議案から第107号議案は、いずれも全会一致で原案のとおり可決しました。

また最終日に、市長提出議案8件が追加提案され、表決の結果、全会一致で原案のとおり同意・可決しました。

同日、議員提出議案1件が上程され、表決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。



市長の提案理由説明

審議した議案の主なものは次のとおりです。

条例等

◎白石市公共下水道区域外流入分担金に関する条例

本市の公共下水道は、認可区域内の整備がほぼ完了している状況ですが、認可区域に隣接する区域外の土地においても、公共下水道を利用した

ことの要望があれば、調査を行ったうえで妥当と判断した案件については、流入を認めることとしています。

この場合、認可区域外であるため受益者負担金が賦課できないことから、認可区域外から流入する場合の公共下水道事業に要する費用の一部としての分担金に関し、新たに条例を制定するものです。

議案番号		件名	審議結果
12月定例会で審議した議案			
第80号	市長提案	白石市公共下水道区域外流入分担金に関する条例	原案可決
第81号		白石市簡易水道事業の廃止に伴う関係条例の整理に関する条例	原案可決
第82号		白石市個人情報保護条例の一部を改正する条例	原案可決
第83号		市営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第84号		指定管理者の指定について(白石市鷹巣地区コミュニティセンター)	原案可決
第85号		指定管理者の指定について(奥州街道ふれあいの館)	原案可決
第86号		指定管理者の指定について(白石市城東コミュニティセンター)	原案可決
第87号		指定管理者の指定について(白石城・白石城歴史探訪ミュージアム・武家屋敷(旧小関家)・白石市小十郎プラザ)	原案可決
第88号		指定管理者の指定について(白石市文化体育活動センター)	原案可決
第89号		指定管理者の指定について(スパッシュランドしろいし)	原案可決
第90号		指定管理者の指定について(白石市弥治郎こけし村)	原案可決
第91号		指定管理者の指定について(白石うーめんやまぶき亭)	原案可決
第92号		指定管理者の指定について(かつらの湯)	原案可決
第93号		指定管理者の指定について(すまいるひろば)	原案可決
第94号		指定管理者の指定について(越河駅前駐車場)	原案可決
第95号		指定管理者の指定について(白石市越河公民館)	原案可決
第96号		指定管理者の指定について(白石市斎川公民館)	原案可決

◎白石市簡易水道事業の廃止に伴う関係条例の整理に関する条例

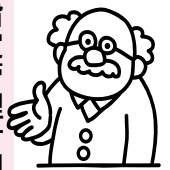
水道法に基づく認可を得て行ってきた上戸沢及び下戸沢簡易水道事業について、近年給水人口が著しく減少し、簡易水道事業として経営することが非常に困難な状況にあることから、簡易水道事業を廃止し、水道法の適用を受けない飲料水供給施設として運営するため、関係する条例の廃止及び一部を改正するもので

◎指定管理者の指定について

平成25年4月1日から指定管理者制度による管理を行ってきた25施設について、平成30年3月31日をもって指定の期間が終了することから、改めて指定管理者及びその期間を指定するものです。

●指定の期間

平成30年4月1日から平成35年3月31日まで



指定管理者制度とは？

住民の福祉を増進する目的で設置した「公の施設」の管理運営を、地方公共団体が指定した民間事業者を含む法人・団体に行わせる制度です。

民間事業者等が有するノウハウを活用することにより、住民サービスの質の向上を図り、施設の設置目的を効果的に達成するため、平成15年の地方自治法改正に伴い導入されました。

「公の施設」は、文化施設、スポーツ施設、福祉施設、教育施設などのほか、駐車場や公園なども該当します。

指定管理者の手続きや業務の範囲など必要な事項は条例で定めることとされており、その指定にあたっては指定の期間等を定めた上で、議会の議決が必要となります。

予算

◎平成29年度白石市一般会計補正予算（第6号）

これまでの歳入歳出予算にそれぞれ7千401万4千円追加し、予算総額を169億9千964万1千円とするものです。

主な内容は次のとおりです。
○住民情報基幹システム更新事業 4千168万3千円

○災害援護資金貸付事業 250万円

○農業次世代人材投資事業 150万円

○地籍調査事業 200万4千円

◎平成29年度白石市介護保険特別会計補正予算（第2号）

これまでの歳入歳出予算にそれぞれ1千394万2千円追加し、予算総額を41億3千662万3千円とするものです。

補正の主なものは、介護保険システム改修及び住民情報基幹システム更新に伴うテータ抽出作業委託料、地域支援事業費を増額するものです。

第97号	指定管理者の指定について（白石市大平公民館）	原案可決
第98号	指定管理者の指定について（白石市大鷹沢公民館）	原案可決
第99号	指定管理者の指定について（白石市白川公民館）	原案可決
第100号	指定管理者の指定について（白石市福岡公民館）	原案可決
第101号	指定管理者の指定について（白石市深谷公民館）	原案可決
第102号	指定管理者の指定について（白石市小原公民館）	原案可決
第103号	指定管理者の指定について（白石市精神障害者小規模通所授産施設ポプラ）	原案可決
第104号	指定管理者の指定について（白石市福祉プラザやまぶき・白石市福祉作業所やまぶき園）	原案可決
第105号	平成29年度白石市一般会計補正予算（第6号）	原案可決
第106号	平成29年度白石市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
第107号	平成29年度白石市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決
第108号	白石市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第109号	白石市特別職の職員に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第110号	旧白石市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第111号	白石市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第112号	白石市少人数学級編制の実施に係る任期付教職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第113号	白石市学校統廃合に伴う任期付教職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第114号	平成29年度白石市一般会計補正予算（第7号）	原案可決
第115号	平成29年度白石市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
第3号	核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書	原案可決

※意見（賛否）が分かれた議案はありませんでした。

◎平成29年度白石市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

これまでの歳入歳出予算にそれぞれ458万8千円追加し、予算総額を4億4千592万5千円とするものです。

補正の主なものは、住民情報基幹システム更新に伴うデータ抽出作業委託料を増額するものです。

本会議質疑より

◎白石市公共下水道区域外流入分担金に関する条例

〔質疑〕今回、新たに条例を制定する理由を伺う。

〔答弁〕これまでは公共下水道利用の拡大という観点から、妥当と判断した案件については、全ての工事費を当事者に負担していただくことで区域外流入を認めていた。

今回、受益と負担の観点から、これまでの例を踏襲せず、今後は受益される方に応分の

負担をいただくという考えに基づき、新たに条例を制定するものである。

◎白石市簡易水道事業の廃止に伴う関係条例の整理に関する条例

〔質疑〕今後、飲料水供給施設として運営していくにあたり、衛生面でのチェック体制はどのようになるのか伺う。

〔答弁〕飲料水供給施設における衛生方策については、地方公共団体が必要に応じて定めることされており、本県では宮城県条例によって定められていることから、県の条例に基づいた水質検査を行う考えである。

県の条例における水質検査は、施設の設定完成時に51項目の検査を行い、以後、11項目の水質基準については年1回、残留塩素については週1回検査しなければならないとされている。

なお、今後、水質などに変化があり、その必要が生じた場合は、検査頻度及び検査項目について見直すこともあると考えている。

予算審査特別委員会

第105号議案・平成29年度白石市一般会計補正予算(第6号)から第107号議案・平成29年度白石市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)の計3議案について、定例会2日目(12月12日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・大野栄光、副委員長・保科善一郎)は、12月13日に審査を行い、すべての議案について、表決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

審査の中で議論された主な内容は次のとおりです。

◎平成29年度白石市一般会計補正予算(第6号)

総務費

〔質疑〕防犯灯の修繕・設置工事について、LEDと昔からの蛍光灯の割合はどのようになっているか伺う。

〔答弁〕現在、市内に設置している防犯灯は、約2千700灯あり、そのうちLED化されているのは約1千600灯と把握している。

〔質疑〕防犯灯が消えている箇所の調査は行なっているのか伺う。

〔答弁〕防犯灯全てについて調査することは難しい状況であることから、周囲の住民、あるいは自治会長などから通報があったものについて、現地調査をしながら修繕を図っている。

また、修繕の際は、状況に応じてLED化していくという対応をとっている。

民生費

〔質疑〕臨時福祉給付金について、600万円が減額補正となるが、その理由を伺う。

〔答弁〕当初予算では、交付者数は8千200名を予定していた。現在、作業を進めているが、最終的には7千800名程度になるであろうということから、所要の予算を計上したものである。

〔質疑〕臨時福祉給付金の交付者数が減少している理由について伺う。

〔答弁〕これまで臨時福祉給付金の該当者には通知をしているところであるが、申請が100%されているわけではなく、また、課税状況によっては、これまで受けていた方も該当しなくなるといった状況もある。

このようなことから、当初に予定していた人数よりも減少傾向にあると考えているが、実態として精査はしていない。

農林水産業費

〔質疑〕農業次世代人材投資事業補助金について、該当となった方の事業の概要を伺う。

〔答弁〕今回、該当になった1名については、現在、仙台市に在住している45歳の方で、福岡八宮地区においてニンニク、タマネギ、サトイモの栽培で営農を進めていくということである。

教育費

〔質疑〕城花町しろいし事業のオープンガーデンフォトブック増刷について、その概要を伺う。

〔答弁〕オープンガーデンフォトブックは、平成28年度に1千部作成し、市内13カ所配布している。

10月末現在で残冊が150冊と好評につき部数が減ってきたことから、さらに1千部ほどを増刷するものである。

常任委員会

第80号議案から第104号議案までの計25議案について、定例会初日終了後、各常任委員会（付託協議）を開催し、第95号議案・指定管理者の指定について（白石市越河公民館）から第104号議案・指定管理者の指定について（白石市福祉プラザやまぶき・白石市福祉作業所やまぶき園）までの10議案を厚生文教常任委員会に付託することに決定しました。

定例会2日目（12月12日）の本会議での質疑後、常任委員会に審査が付託され、12月14日に議案の審査が行われました。審査の中で議論された主な内容は次のとおりです。

厚生文教常任委員会

委員長 松野 久郎
副委員長 佐藤 秀行
委員 佐藤龍彦・伊藤勝美
沼倉啓介・平間知一
菊地忠久・大町栄信
佐久間儀郎

◎指定管理者の指定について（白石市越河公民館）から指定管理者の指定について（白石市小原公民館）

〔質疑〕各公民館の指定管理者選定にあたり、どのような意見が述べられたのか伺う。

〔答弁〕白石市公（おたぎ）の施設指定管理者選定審査会において、それぞれの公民館で創意工夫がなされており、着実に成果を上げているという意見があり、総じて指定管理者の候補者とすることは妥当であると判断をいただいている。

〔質疑〕今後、5年間の指定管理期間を設定し、債務負担行為を行った後に、消費税率の改定など偶発的な事由が生じた場合、指定管理委託料はどのように対応されるのか伺う。

〔答弁〕債務負担行為は5年間の限度額ということであり、消費税率の改定や、重油価格の高騰などにより光熱水費に影響がでたといった場合には、必要に応じて、その都度、議決をいただいた上で、債務負担行為の変更並びに歳出予算の増額補正の措置を行うこととなる。

〔質疑〕指定管理者制度は、あくまで公の施設の管理業務を委託する制度であり、災害時等の管理体制・管理責任については、市が最終的な責任を持つという認識でよいか伺う。

〔答弁〕災害時等の避難所開設においては、早急に市の職員を派遣しており、市が各公民館を避難所として指定していることから、管理責任は市が負うものである。

◎指定管理者の指定について（白石市精神障害者小規模通所授産施設ポプラ）及び指定管理者の指定について（白石市福祉プラザやまぶき・白石市福祉作業所やまぶき園）

〔質疑〕白石市精神障害者小規模通所授産施設ポプラ外2施設の指定管理者選定にあたり、どのような意見が述べられたのか伺う。

〔答弁〕白石市公の施設指定管理者選定審査会において、これら3施設についての質疑等はなく、指定管理者の候補者とすることは妥当であるとの判断をいただいている。

なお、本施設に限らず、指定管理施設においては、利用者の個人情報保護に当たり適切な取り扱いをお願いするとの指摘をいただいている。

〔質疑〕これら3施設の性格を踏まえた場合、指定管理委託料は現状維持の予算編成をしていくべきではないか。

〔答弁〕受け皿として、なくてはならない施設であり、人件費の部分については、下げられないというのが現状と考えている。検討するとすれば、光熱水費等があげられる。

スマートインターチェンジ設置推進特別委員会中間報告

委員長 四竈 英夫
副委員長 菅野 恭子
委員 保科善一郎・澁谷政義
大野栄光・菊地忠久
松野久郎・佐久間儀郎

定例会初日（12月8日）、スマートインターチェンジ設置推進特別委員会の活動経過について、四竈英夫委員長より中間報告がなされました。報告の内容については、次のとおりです。

平成29年11月29日に委員会を開催し、関係部長等の出席を得て、スマートインターチェンジ設置に係る現状について報告を受け、議員共通の認識を深め、当局との情報の共有を図るとともに、今後の進め方について協議した。

会議において、当局より「土地利用基礎調査業務」を入札により株式会社復建技術コンサルタントが落札し、業務委託を行なっている旨の説明が

あった。業務内容は、スマートインターチェンジ整備の必要性の整理や接続位置の検討、候補地の選定、概略設計などが主な内容で、6月1日より作業に着手しているとの報告を受けた。

10月6日に国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所との第1回目の打ち合わせを行い、スマートインターチェンジが設置可能な接続道路を、東北道の既存の横断施設（ボックス）を勘案し、適正な候補地を選定するよう、また、白石市総合計画等の上位計画との関連づけについて指摘を受けたとの報告があった。

指摘事項を踏まえながら、現時点で本市の課題と考えられる、工業の振興、周産期医療の支援、リダンダンシー（代替性）の確保、広域観光の振興についてスマートインターチェンジの必要性や整備効果による候補地評価等から適地の選定に向け、更に関係機関と協議を進めていくことの説明があった。

また、平成30年2月中旬に



四竈委員長の中間報告

仙台河川国道事務所と土地利用基礎調査について2回目の打ち合わせを予定しているとの説明があった。

本委員会の今後の進め方としては、スマートインターチェンジの設置については、多くの段階を踏まなければならず、かなりの時間を要することから、引き続き当局との情報共有、意見交換を行い、時宜を得た活動を行い本事業の円滑な推進を図っていくことを確認したところである。

白石市議会会議録を公開しています。

白石市議会 会議録

検索

市議会のホームページに会議録を公開しております。このページでは、【ことばで探す】を選ぶと、キーワード入力により効率よく目的の会議録を探すことができます。

また、注目のキーワードとして【介護保険】【きゅっするくん】などその言葉をクリックすると、会議・発言者・期間で探すこともできます。どうぞご覧下さい。



▲【会議録検索】をクリック



【白石市議会会議録】トップ画面へ



▲市議会のホームページから【会議録検索】をクリック

市政に 対する 一般質問

〽〽10名の議員が質問〽〽

12月定例会の一般質問は、12月18日・19日の2日間にわたり行われました。質問の要旨は次のとおりです。

松野 久郎 白石市公共施設等総合管理計画について 他

澁谷 政義 子育て支援・多世代交流複合施設について 他

佐久間儀郎 除排雪・融雪対策について 他

伊藤 勝美 平成30年度予算編成について 他

菅野 恭子 骨髄移植などで抗体を失った小児へのワクチン再接種の費用助成について 他

佐藤 秀行 市独自の教育〽35人学級〽について 他

佐藤 龍彦 就学援助の新入学用品費の入学前支給について 他

保科善一郎 本市の地方創生について 他

菊地 忠久 子育て支援・多世代交流複合施設について 他

大野 栄光 イベント時のバスの運行について 他

白石市公共施設等総合管理計画について

松野 久郎



状況である。

〔質問〕インフラ施設においても、直近の課題への対策をどのように講じていくのか伺う。

〔答弁〕【市長】道路、橋梁、上下水道施設などのインフラ施設も、壊れたら直すという従来の対処方法だけでなく、壊れる可能性があるかを事前に調査し、修繕すべきものがあれば早めに修繕することで長寿命化を図る。

◎農商工連携を核とした賑わい交流拠点整備事業について

〔質問〕本事業において、子育て支援・多世代複合施設の利用者数想定を年間8万人とした根拠を伺う。

〔答弁〕【子ども家庭課長】子どもの屋内遊び場を運営している近隣市町に聞き取りを行い、

1日当たりの入場者数を参考に、平日150人、土日・祝日500人と推計し、年間8万人と想定した。

〔質問〕有料と考えているとのことだが、近隣の施設はほとんどが無料で利用できる現状の中で、有料でも利用していただけるような施策があるのか伺う。

〔答弁〕【市長】近隣市町にはない様々な工夫を凝らし、有料で運営してもリピーターの確保など集客につながるよう努めていく。

〔質問〕集客数アップを目指し、ドッグラン（犬の運動広場）などを導入する工夫も必要と考えるがいかがか。

〔答弁〕【市長】限られたスペースで取り入れられることがあれば、いただいたアイデアを参考にしたい。

◎小中学校統廃合の準備状況について

〔その他の質問〕

〔質問〕

〔答弁〕

〔質問〕

〔答弁〕

子育て支援・多世代交流複合施設について

澁谷 政義



〔質問〕施設の管理は、だれが、どのような方法で行うのか伺う。

〔答弁〕【市長】基本的に行政と民間等との役割分担を明確にし、民間事業者の活力を導入して管理運営を行う。当初は委託により管理運営を行い、ノウハウがある程度確立できた時点で指定管理に移行したいと考えている。

〔質問〕管理事業者は公募なのか、または内定しているのか伺う。

〔答弁〕【市長】ノウハウを持つている団体の方々にアプローチをかけているが、現時点で発表できる段階にはきていない。

〔質問〕相応の利用者

その決意を伺う。

〔答弁〕【市長】農商工施設との相互連携がもたらす相乗効果の促進とあわせて、安定的な利用者数・利用料収入の確保、適切な維持管理運営費の支出に努めながら、一般財源の持ち出しを抑え運営を維持していきたい。

◎都市計画道路の見直しについて

〔質問〕本市の第五次白石市総合計画実施計画では、都市計画道路網の見直し案を策定するとあるが、中河原白石沖線の見直しについて伺う。

〔答弁〕【市長】見直しの対象区間をJR東北本線の西側・東側の2区間に分けて検証している。西側の区間は、JR東北本線をまたぐ計画を平面交差とすることで、沿線・沿道からのアクセスが可能になり、白石川の渡河可能箇所も増加するため、事業費も含め改善が図られることから、計画

存続候補としている。

除排雪・融雪対策について

佐久間 儀郎



〔質問〕委託業者の除雪作業が朝の出勤時には間に合わず、児童・生徒も通学に難儀しているという実態をどう捉えているか伺う。

〔答弁〕【市長】午前7時までに作業を完了するよう努めているが、今後も早めの出勤を委託業者に要請していく。

〔質問〕脇道、枝線の除雪は自治会や地域住民のボランティアに依存しているが、燃料費など幾分かでも市で負担し、奉仕に報いる姿勢があってもよいのではないか。

〔答弁〕【市長】財源の確保、対象路線の選定、作業確認の方法など、

を研究していくが、当面はこれまでどおり、ご協力をお願いしたい。

◎病児・病後児保育について

〔質問〕病気の子どもを一時的に預かる保育事業がある。病児・病後児保育は、究極の子育て支援と考えるが、本市の対応、取り組みについて伺う。

〔答弁〕【市長】先に実施した子育て支援に関する調査の結果報告書において、病児・病後児保育施設等の利用意向については、未就学児で約57%、小学生で約73%の保護者が「利用したいとは思わない」と回答している。

保護者が病気の我が子を病児・病後児保育

に預けるよりも、家庭で看病したいとするあらわれと考えているが、今後はニーズ調査の結果を踏まえ、実態の把握に努めながら慎重に検討していきたい。

◎未収金対策の取り組みについて

〔質問〕住民に対し滞納処分することは、情において忍びないが、一罰百戒の意味を込めて、悪質と思われるものには断固、滞納処分をすべきである。

債権管理条例の運用において、全庁的な方向性を明確化し、一体となって債権管理の適正化に取り組む必要があるが、管理の姿勢を伺う。

〔答弁〕【市長】市税及び市の債権に対しては、公正かつ公平な市民負担を確保するという統一した方向性で考えており、収納管理室を中心に、実務者レベルの講習会を今年度は3回開催している。

平成30年度予算編成について

伊藤勝美



【質問】当初予算編成に先立ち、これまでの白石市の財政運営について伺う。

【答弁】【市長】本市は自主財源に乏しく、地方交付税や国庫支出金等の依存が高い財政構造にある。

このことから、安定した財政基盤の確立を目指し、自主財源の確保、経費節減と合理化、予算の重点配分などの目標を掲げ、健全で安定した運営に取り組んでいる。

【質問】今後の財政運営の見通しについて伺う。

【答弁】【市長】依然として収支不足の状況が変わらず、財政調整基金の取り崩しが続いて

おり、基金残高が年々減少していることから、引き続き厳しい財政運営が続くものと認識している。

【質問】当初予算編成の方針は、どのような考えを持って臨まれるのか伺う。

【答弁】【市長】義務的経費を除く経費については、事業の必要性・緊急性等について再度検証し、事業のスクラップ・アンド・ビルド、ゼロベースから徹底した見直しを行う。

また、集中改革プランによる経常経費の削減、事務の効率化を進め、持続可能な財政構造の構築を図りたいと考えている。

【質問】市長の手元には、市内各地域から、生活に密着した多くの

要望が来ていると思う。

市民要望事業には積極的な取り組みを行なっていただきたいと考えているが、見解を伺う。

【答弁】【市長】地域間の公平性、緊急性、優先度などから判断し、要望内容を精査しながら取り組みたいと考えている。

◎市長の政治姿勢について

【質問】最近、多くの自治体では、透明性を高め、市民の市政に対する理解と信頼を深めようするため、市長交際費の執行状況をホームページ上に掲載している。本市においても掲載すべきと考えるがいかがか。

【答弁】【市長】以前より情報公開制度において請求があった際には、市長交際費の執行状況を公開している。

現時点でホームページに公表する予定はない。

【その他の質問】

◎道徳の教科化への対応について

骨髓移植などで抗体を失った小児へのワクチン再接種の費用助成について

菅野恭子



【質問】骨髓移植などの治療を受けた子どもは、定期予防接種で受けたワクチンの効果が期待できなくなり、再接種が必要となる場合がある。

国が努力義務を課している定期予防接種は11種類あるが、この際の再接種費用は全額自己負担であり、約20万円かかると思われる。

このような現状から、当事者家族の経済的負担を考慮し、再接種に対し全額を助成する自治体が出てきている。

本市においても、ぜひ検討すべきと考えますが市長の見解を伺う。

【答弁】【市長】本助成制度を実施している自

治体は県内にはなく、全国でも少数であることから、国や県、近隣自治体の動向をみながら検討するとともに、全国の実施自治体の情報をしっかりと入手する努力もしていきたい。

◎介護保険居宅介護（介護予防）住宅改修費の支給について

【質問】在宅の要介護・要支援の認定を受けた方が、実際に居住する住宅について、手摺りの設置など、厚生労働大臣が定める種類の住宅改修を実施した場合、申請して被保険者の心身や住宅の状況等により必要と認められれば、費用の一部が被保険者に支払われる。

本市は、被保険者が費用の全額を一時立て替えとする「償還払い方式」だが、被保険者の負担軽減から、被保険者の立て替え払いが発生しない「受領委任払い方式」を併せて導入する自治体も多い。

本市においても受領委任払い方式を導入すべきと考えますが、見解を伺う。

【答弁】【市長】受領委任払い方式を導入した場合、被保険者の負担が軽減される一方で、よく検討されずに改修が実施されることも考えられ、介護保険給付費の増大につながることも懸念される。

また事業者への支払いが償還払い方式に比べ2、3カ月遅くなるため、事業者の理解、同意が必要となる。しかしながら、本制度導入による被保険者の負担軽減を念頭に置き、今後、先行自治体を参考に検討したい。

【その他の質問】

◎フォトロゲイニングの実施について

市独自の教育（35人学級）について

佐藤 秀行



〔質問〕本市は、平成27年度から市内小中学校全ての学年で35人学級を実施している。

〔答弁〕少人数学級により教師の負担が減る、子どもと向き合う時間が確保されることなどに意味があると思うが、この3年間を振り返っての成果について伺う。

〔答弁〕【教育長】学習面においては、きめの細かな指導ができ、個々の子どもと向き合う時間が多くなり、成果を上げている。

さらに生活指導面での成果が大きく、学級に落ち着きが生じ、安定した学級づくりがなされている。

〔質問〕市で採用している幼稚園、小中学校の学習支援員について、児童・生徒の現状、実態からも、今後さらにその必要性が高くなる

と考えるが、所見を伺う。

〔答弁〕【教育長】特別支援学級の在籍者数は、小中学校で増加している。幼稚園においても、障がいを持った園児が増加している。

このような状況において、学習支援員は非常に活躍しており、特別支援学級や普通学級における指導を要する子どもたちへの支援は必要不可欠と考える。

〔質問〕市独自の教育の一つとして、全ての教育活動において大切な、そして基本となる35人学級をこれからも継続していくべきと考えるが、所見を伺う。

〔答弁〕【教育長】35人学級が本市の教育の大きな特色であり、柱である。本市の教育の基本は、心育て、体づくり、学力の向上であるが、これらを具現化するため多岐にわたって取り組んでいる。

35人学級は、今後、財政上の課題もある中で、市当局と話し合いながら検討していきたい。

◎ドローンスクールの利活用について

〔質問〕小型無人機「ドローン」の研修センターが、福岡八宮地区に開設された。市職員も研修会を受講し、操縦を体験したとのことであるが、市としての今後の利活用等を伺う。

〔答弁〕【市長】利用可能性のある部署の職員が今回参加した。

今後、本事業を展開している協議会と連携を図り、人材育成や防災、観光、地域活性化などについて進めていきたい。

就学援助の新入学学用品費の入学前支給について

佐藤 龍彦



〔質問〕就学援助の新入学学用品費の入学前支給について、県内の状況を伺う。

〔答弁〕【教育長】今年4月に県の教育庁で実施した調査結果によると、県内35市町村のうち既に実施しているのが7市町であり、平成30年度入学から実施する方向で検討中は10市町である。

市で見ると、実施しているのが名取市、大崎市、平成30年度入学から実施する方向で検討中は、仙台市（中学校のみ）、石巻市、気仙沼市、角田市、登米市、富谷市の6市である。

また、仙南2市7町で見ると、大河原町、

柴田町、川崎町の3町が実施済みで、平成30年度から実施する方向で検討中は、角田市、蔵王町の2市町である。

〔質問〕本市も入学前支給を実施する考えはないのか伺う。

〔答弁〕【教育長】支給後に転出などの理由で返還金が生じた場合の対応など、クリアしなければいけない課題がある。この課題を解決しながら前向きに検討していきたい。

◎ひきこもりの支援について

〔質問〕本市のひきこもりの現状について、調査等を行なっているのか伺う。

〔答弁〕【保健福祉部長】当事者やご家族にとって、プライバシーなどの問題があるため、実施はしていない。

〔質問〕本市では、ひきこもりの方やそのご家族に対し、どのような支援、取り組みを行なっているのか伺う。

〔答弁〕【保健福祉部長】本市では、保健師が個別の相談に応じながら、当事者やご家族に支援を行なっている。

〔質問〕今後、本市として、ひきこもりの方やそのご家族に対し、どのように向き合っていくのか伺う。

〔答弁〕【市長】ひきこもりの支援は、教育、保健、福祉、医療などの複数の専門機関による多面的な支援が必要であると考えている。

今後は、より専門的な相談ができる宮城県仙南保健福祉事務所、あるいは家族会を開催している宮城県精神保健福祉センターなど関係機関と連携を図って支援していきたい。

〔その他の質問〕
◎障害者手帳の交付方法の改善について

本市の地方創生について

保科善一郎



〔質問〕平成27年10月に白石市まち・ひと・しごと総合戦略が策定された。総合戦略では「重要業績評価指標」(KPI)が設定されており、また、計画・実行・評価・改善というPDCAサイクルにより、必要に応じて総合戦略を見直すこととなっている。

総合戦略における基本目標として掲げた項目について、実施した施策・事業の効果を検証した内容を伺う。

〔答弁〕【地方創生対策室長】「産業の活力を生む新しい価値を創造し続けるまちづくり」では、仕事の確保だけではなく、働く人が何を求めているかを調べる

ことも必要ではないかとの意見があった。

「市民が主役になって地域をつくり、交流を楽しむまちづくり」では、大人だけではなく20歳以下の若い世代の意向の把握や移住世帯の移住理由も把握すべきとの意見があった。

「安心して子どもを産み育て、心やすらかに暮らせるまちづくり」では、広域的な産科医療における連携体制の強化や病院の情報提供、相談窓口の充実を図ってほしいとの意見があった。

◎子育て支援・多世代交流複合施設整備事業について

〔質問〕若い世代を中心とした定住支援、子育て支援の強化を図ることは有意義なことである。

あり、このような事業が成功することを誰しもが望んでいる。

この事業における計画立案の経緯について伺う。

〔答弁〕【市長】小学校児童までの保護者約2千名を対象に実施した白石市子育て支援に関する調査で、最も整備・充実すべき公共施設として約27%の保護者が屋内遊び場と回答していることから、当該事業に着手したものである。

〔質問〕この事業における全体構想について、国の認定を受けているのか伺う。

〔答弁〕【市長】国から事業の全体構想、計画を認めていただき、地方創生関連予算も内示をいただいている。

子育て支援施設をはじめ、農商工連携を核とした賑わい交流拠点の全体構想についても、現在準備を進めているところである。

子育て支援・多世代交流複合施設について

菊地忠久



〔質問〕屋内遊び場について、市長選挙時の公約で「ふれあいプラザ内にある子育て関連の機能を移転し、子育て支援の拠点となる施設とする」とあったが、現在の所見を伺う。

〔答弁〕【市長】補助金の制約もあることから、ふれあいプラザ内の子育て関連機能は、現状を維持していきたいと考えている。

〔質問〕維持管理費等を抑えるため、施設のネーミングライツ(命名権)や遊具の寄付募集などを実施すべきと考ええるが、所見を伺う。

〔答弁〕【市長】ネーミングライツ制度の導入や寄付募集等による財源確保策を積極的に推

進し、他の自治体の導入事例も参考に早急に制度化を進めたい。

〔質問〕岩手県紫波町に「オガールプラザ」がある。図書館などの公共施設や産直市場・商店などの民間施設で構成され、民間の利益を図書館の維持管理費に充てることができている。本市の産直施設建設にあたり、大いに参考にできる事例と考えるが、所見を伺う。

〔答弁〕【市長】民間主導によるにぎわいづくり、収支均衡による自立的・持続的な施設運営は必要不可欠である。各団体の連携手法や事業展開のノウハウ等をオガールプラザから学びたいと考えている。

〔質問〕産直施設は確実に利益を出していた

だきたいと考えるが、所見を伺う。

〔答弁〕【市長】どなたが経営するかが非常に重要で、しっかりと経営感覚を持つている方に経営していただければ、結果として本市の農産物や物産はどんどん売れていく。今回の施設は、本市の経済を発展させる起爆剤になると確信している。

〔質問〕市からの補助金等はありませんが、独立採算で運営すべきと考えるが、所見を伺う。

〔答弁〕【市長】経営感覚を持った方に管理運営をしてもらえれば、それなりの収入は十分見込まれる。市から補助金等は出さずに儲けていただき、利益分を今後のメンテナンス等に充てられるような管理運営をお願いしたい。

◎平成30年度予算編成について

◎ホームタウンパートナー協定について

イベント時のバスの運行について

大野 栄光



〔質問〕本市は年間を通し多彩なイベントがあり、市内外を問わず、多くの人々が訪れる。しかしながら、高齢者は会場を訪れることができない。

土日はバスの運行がなく、交通空白日となる。近年は高齢者の免許返納の呼びかけにより、行動範囲も狭くなり、頼るところは公共交通機関だけとなる。せめてイベント時には土日のバスの運行ができないものか伺う。

政状況を考慮すれば、土日の運行の実施は難しい。利用者数の確保、費用対効果の関係などから考えても現時点では予定していない。

◎温泉地のにぎわいについて

〔質問〕本市の観光地として誇れる一つに小原温泉がある。

しかし、長年続いた老舗旅館が震災後、客足が激減し、事業停止となった。企業としての努力にも限界がある。行政としてできる支援策はなかったのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕老舗旅館のある温泉郷は、すぐれた観光地として、誘客に全力で努めてきた。ハード面での財政支援も予算を十分に措置し、加えて国・県補助事業の情報提供や申請手続支援など強力に

行政支援を行なってきたところである。

◎児童・生徒の防災意識について

〔質問〕正月明け早々に行われる消防出初式には幼稚園児たちも参加してくれる。

地域の豊かさを守るべく、消防団員の方たちは活動を休まない。高齢化、少子化による団員不足など、難しい問題も浮上している。明日に消防団活動をつなぐためにも、児童・生徒の防災意識向上について所見を伺う。

〔答弁〕〔教育長〕震災から6年9カ月が経過し、どの学校も防災教育に取り組んでいる。特に福岡中学校では、地域の防災訓練等に参加して防災を学び、消防団との交流が図られたところである。

〔その他の質問〕

◎トイレの管理について
◎鳥インフルエンザについて

議会を傍聴してみませんか！

2月定例会は、平成30年2月23日（金）午前10：00開会予定です。

定例会は、年4回（2月・6月・9月・12月）開催されます。市の予算や決算、条例など、市民のみなさんに深く関わりのある議案が審議されます。

また、市議会では、インターネットによる中継を行っています。議場で行われる本会議（議案審議・一般質問など）や予算審査をライブ中継や録画映像で視聴できます。

※録画映像は、ライブ中継配信の日から30日を経過すると自動で削除されます。



- 11月臨時会の傍聴者数 2人
- 12月定例会の傍聴者数 20人
- 11月・12月の議会ライブ中継の合計視聴者数（累計） 562人

白石市議会ホームページの「白石市議会インターネット中継」をクリック

意見書

定例会最終日(12月20日)に議員提案として次の意見書が上程され、表決の結果、全会一致で可決され、意見書は関係機関に送付されました。

◎核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書

本年7月7日、国連において、人類史上初めて、核兵器を違法化する核兵器禁止条約が、加盟国の3分の2(122カ国)の賛成で採択された。その後、条約に署名した国は50カ国に達しており、その実現に向け大きく前進している。

核兵器禁止条約は、その前文に「ヒバクシャの苦難を心に留める」との文言を盛り込み、加盟国に核兵器の開発・保有・実験・使用を禁止するにとどまらず、核兵器による威嚇行為も禁じている画期的なもので、また、その一方においては核保有国が条約に参加する道もつくられている。2017年のノーベル平和賞は、「核兵器禁止条約」の

採択に貢献した国際NGO「核兵器廃絶国際キャンペーン」(ICAN)が受賞しており、この受賞によって、核保有国とその傘に入る国を動かす大きな原動力になるものと確信している。

日本国内では、速やかな核兵器廃絶を願い、核兵器使用を禁止する条約を結ぶことを全ての国に求める「ヒバクシャ国際署名」に、875自治体の首長が賛同し、署名しており、また、世界の7千43都市が加盟する平和首長会議においても、核兵器禁止条約の締結を求める取り組みが進められている。

政府には、唯一の戦争被爆国として、今こそ自らが明言した「核兵器のない世界を目指す」リーダーシップをとり、核兵器を持つ国々と持たない国々の橋渡し役を務めるとしたとおりの行動が求められている。

よって、「核兵器禁止条約に一日も早く署名及び批准すること」の早期実現を求め、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

11月臨時会

第428回市議会臨時会が、平成29年11月29日に開かれ、市長提出議案4件の審議を行い、全会一致で承認・原案のとおり可決しました。

各議案の内容は次のとおりです。

なお、意見(賛否)が分かれた議案はありませんでした。

◎専決処分の承認を求めることについて(専決第6号)(平成29年度白石市一般会計補正予算)

承認

これまでの歳入歳出予算にそれぞれ2千513万円追加し、予算総額を169億2千162万7千円としたものです。

専決の主な内容は、去る10月22日に投票となった衆議院議員総選挙に係る経費及び社会福祉総務費、総合福祉センター費を増額する一方、予備費を減額したものです。

●主な内容

- 条列名 (変更前)
- 白石市商家資料館条例 (変更後)
- 白石市温麺食文化伝承館条例

原案可決

子育て支援・多世代交流複合施設整備工事の請負契約について、条例の規定に基づき議会の議決を求めるものです。

●契約の方法

- 条件付一般競争入札
- 契約の金額 2億6千406万円

●契約の相手方

大木建設株式会社
東北支店

◎白石市商家資料館条例の全部を改正する条例

原案可決

白石市商家資料館について、現況を踏まえ施設の名称及び目的を改め、伝統ある白石温麺による更なる地域活性化を図るため、条例の全部を改正するものです。

◎平成29年度白石市一般会計補正予算(第5号)

原案可決

これまでの歳入歳出予算にそれぞれ400万円追加し、予算総額を169億2千562万7千円とするものです。

補正の主な内容は、台風21号により被災した公共土木施設などの災害復旧に係る経費等を増額するものです。

第4回市民と議会の意見交換会を開催します!

白石市議会では、市民の皆さまに開かれた議会を目指していくため、第4回目の意見交換会を下記の日程で開催します。

この意見交換会は、議員18名が6名ずつ3班に分かれて、市内の各公民館に出向いて行うもので、市民の皆さまに議会活動を広く知っていただくとともに、市政や議会活動に対する貴重なご意見やご提言をお聞かせいただくために開催するものです。

今回は、共通のテーマを設定して開催します。皆さまのご参加をお待ちしています。

【開催日時】 平成30年3月20日(火)、22日(木)、23日(金)
午後7時～午後8時30分

※各会場での受付開始は、午後6時15分からです。

※申し込みは不要です。お気軽にお越しください。

【開催内容】 ①議会報告 ・平成30年度当初予算について
・前回の意見交換会の意見等について

②市民との意見交換

共通テーマ：見つけよう！高めよう！「わが地域の魅力」

白石には、自然、歴史、文化、産物といった様々な魅力があります。

活力ある地域づくりのために、各地域の魅力について語り合しましょう。

【班編制と会場】 ※（総務産建）＝総務産業建設常任委員会、（厚生文教）＝厚生文教常任委員会

	3月20日(火)	3月22日(木)	3月23日(金)
1 班 班 長 四竈 英夫 (総務産建) 副班長 大野 栄光 (総務産建) 班 員 佐藤 龍彦 (厚生文教) 班 員 伊藤 勝美 (厚生文教) 班 員 志村 新一郎 (総務産建) 班 員 佐藤 秀行 (厚生文教)	小原公民館 (集会室)	斎川公民館 (集会室)	深谷公民館 (集会室)
2 班 班 長 菅野 恭子 (総務産建) 副班長 大町 栄信 (厚生文教) 班 員 保科 善一郎 (総務産建) 班 員 沼倉 啓介 (厚生文教) 班 員 小川 正人 (総務産建) 班 員 松野 久郎 (厚生文教)	大平公民館 (集会室)	越河公民館 (集会室)	大鷹沢公民館 (集会室)
3 班 班 長 佐久間 儀郎 (厚生文教) 副班長 菊地 忠久 (厚生文教) 班 員 澁谷 政義 (総務産建) 班 員 平間 知一 (厚生文教) 班 員 山谷 清 (総務産建) 班 員 佐藤 聡一 (総務産建)	福岡公民館 (集会室)	中央公民館 (第1・2講座室)	白川公民館 (集会室)

議会広報委員会 委員	管野 恭子
委員 長	佐藤 聡一
副委員 長	佐藤 龍彦
委員 員	保科 善一郎
委員 員	伊藤 勝美
委員 員	四竈 英夫
委員 員	菊地 忠久
委員 員	佐藤 秀行
委員 員	松野 久郎

編集後記

市民の皆様におかれましては、平成30年の新春をお健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

さて、議会改革の一環として取り組んでまいりました市民と議会の意見交換会を、今年も3月に予定しております。ぜひとも足をお運びいただき、沢山のご意見を頂戴できればと存じます。

我々議員は、研鑽を怠らず、さらに市民の皆様の期待に応えられるよう取り組んでまいります。本年も変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、幸多き年になりますよう心から祈念いたします。年頭のごあいさつといたします。

議会広報委員会
副委員長 佐藤 聡一